

川内原子力発電所 温排水影響調査結果の概要

[令和5年度春季・夏季調査]

令和6年2月15日
水産振興課

1 調査結果の概要

温排水の拡散範囲は、放水口の周辺に限られており、海藻類については主に食害により過去の調査結果「昭和59年度（発電所稼働開始後）～令和4年度」の変動の範囲を下回ったものもあったが、潮間帯生物（動物）、水温、塩分、流況については過去の調査結果の変動の範囲内であった。

2 調査の目的

安全協定書に基づき川内原子力発電所から排出される温排水が周辺海域に与える影響を的確に把握する。

3 調査の体制

調査は「鹿児島県海域モニタリング技術委員会」の指導、助言のもとに県水産技術開発センターが実施した。

4 調査内容および実施時期

表1 令和5年度春季・夏季調査調査一覧

調査項目	調査の内容	調査実施時期
1 海生生物	(1) 海藻類	令和5年5月16, 17日
	(2) 潮間帯生物（動物）	令和5年5月16, 17日
2 水温・塩分	(1) 水平分布	令和5年7月18日
	(2) 鉛直分布（水温）	令和5年7月18日
3 流況	(1) 25時間調査	令和5年7月18～19日
	(2) 15日間調査	令和5年7月4～19日